

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

モデル校名 山形県東置賜郡高島町立糠野目小学校

○学校の概要（平成15年4月現在）

高島町立糠野目小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	3	2	2	2	2	15	19
児童数	57	51	69	64	57	60	3	361	

○「総合的な学習の時間」における年度当初の課題

- ・実践の積み重ねがないために、「総合的な学習の時間」の捉え方に共通理解がされていなかった。
- ・指導例や活動例が残されていないので、年間計画を立てにくいところがあった。
- ・全体計画の検討がなされなかったために、各学年の目標や内容に関連性が薄かった。

○研究主題に対する受け止めと目標設定

- ・環境学習を切り口に総合的な学習を見直すことについては、環境教育の充実が他の領域の充実にもつながると考えられるし、地域の特色を生かしやすいので、積極的に取り組んでいきたい。また、中学校との連携や地域人材との連携を具体化することによって、よりよい学びが期待できる。
- ・6年間で育てたい力を想定し、テーマや学習内容を考えていく。環境については、「ゴミ問題」と「エネルギー」をテーマに、内容からの学びと資質の向上を求めていく。

○15年度の取り組み・成果と課題

※本年度の「環境」領域の内容については、3、4学年を中心に学習を進めた。

取り組みと成果	
3年	本校で作成した総合のガイドブックを使用したガイダンスのあと、各自が課題を設定し追究・まとめ・発表の一連の活動を経験し、意欲を高めることができた。次に「やさしい町へ」というテーマで、お年寄りとの触れ合いや身近なところのごみ問題を考える学習に取り組んだ。お年寄りや町の「環境アドバイザー」に入ってもらったことにより学習に深まりと広がりが見られた。
4年	国語科からの発展・関連を図りながら「つばめの巣マップ作り」に取り組んだ。その際に、学区の地域人材から情報を集めながら、探し回る活動をとおして、身の回りの環境について見直すことができた。また、「最上川と水」をテーマにくらしとの関わりを追究し、各自で課題を設定し、まとめることができた。それをもとにしたオリジナル劇を創り、大勢の人に伝える活動をとおして達成感を得ることができた。

- ＜課題＞
- ・各学年の実態に応じたテーマを設定したが、学年間のつながりは考慮されなかった。
 - ・児童の主体的な活動になりにくい場合があったので、支援や評価の工夫が必要とされる。
 - ・地域の人々との関わりや地域人材との連携によって学習を深められることがわかったが、その活動例は少ない。

○平成16年度の取り組み

- ・各学年の積み上げが見られるような全体計画を作成し、具体的な活動内容と目標を設定して実践する。
- ・四中との連携を図っていく。（育てたい力、活動内容など）
- ・地域人材との連携を積極的に進め、その活動例を保存して共通資料として役立てる。

(表0)

「総合的な学習の時間」全体計画

高島町立糠野目小学校

学校教育目標

- ・強く たくましい子
- ・やさしく 思いやりのある子
- ・よく学び よく汗する子

総合的な学習の時間に育てたい力

- ① 身近な人・自然・社会に対して興味・関心を持ち、疑問や気づきを基に自分で課題を考える力。(課題把握力)
- ② 見通しを持って課題を最後まで追究する力。(課題追究力)
- ③ 必要な情報を身の回りから収集し、選択・活用する力。(情報収集、活用力)
- ④ 必要なことを聞いたり、自分の考えや思いを伝えたり、自分で考えた方法でまとめたりすることができる力。(表現する力)
- ⑤ 人や自然・社会に主体的にかかわり学ぼうとする力。(かかわり合う力)

高島町の環境教育

- ・体験を通して町の自然や生活環境に目を向け、課題意識を持たせる。
- ・環境にやさしいライフスタイルを実践する態度を養う。



各学年の「総合的な学習の時間」の目標

各学年のテーマと領域(内容)

3年	○高島町の人・自然・社会に興味・関心を持ち、疑問や気づきをもとに課題を設定し、自分で考えた方法で情報を収集してまとめ、自分の思いや願いを発信することができる。	「大すき 高島 やさしい町」 ・高島町についての地域学習 ・やさしい町づくりのひみつ
4年	○教科の学習や糠野目地区の調査活動を通し、環境を守るための人々の思いや願いに関心を持ち、自分たちでできる環境を守る活動を考え、実践することができる。	「考えよう かんきょう I」 ・地域の環境調査、施設見学 ・環境保全啓発活動
5年	○身近な環境に関心を持ち、自分なりの課題を見つけ、意欲をもって課題追究活動に取り組み、必要な情報を収集・選択し、まとめを分かりやすく発信・発表することができる。	「考えよう 環境 II」 ・自然体験活動 ・エコスクールに学ぶ
6年	○地域の人・自然・社会・文化に関心を持ち、自分なりの課題を見つけ、適切な課題解決方法を身に付けたり、自分の生活生かしたりすることができる。	「ふるさと 未来」 ・環境学習 ・ふるさとの歴史に学ぶ ・12才の旅立ち

小中連携の具体的視点

- ① 9年間を見通したカリキュラム作り
- ② 環境学習に関わる地域での活動の交流(クリーン作戦、畑作り)
- ③ 国際理解教育の情報交流
- ④ 地域の施設や人材を活用した取り組み
- ⑤ 児童生徒理解に基づく継続的な指導・支援